白川北地区まちづくり懇談会(新庁舎整備事業)

【質疑応答記録】

日 時：令和4年10月22日(土)

19:30~21:20

場 所：白川北ふれあいセンター
大会議室

参加者：15名

凡例 ■：質問・意見 →：白川町 ⇨：設計事務所

<質疑応答>

- 天井が高かったり、ガラス張りだったりで、光熱費がかなりかかりそうだが、大丈夫か。
⇨空調は、床吹き出し空調を採用予定。床下から空調された空気を送風することで、人がいる居住域を効果的に空調でき光熱費を抑えられる。
- 太陽光パネルを設置する予定にしているが、どのくらい電気代を賄えるのか。
⇨太陽光発電では、年間約50万円発電できる予定。すべてを太陽光で賄うのではなく、一部を太陽光で賄う。蓄電池は設置せず発電したものは、使っていく。停電時にも使えるようにする。
- 床吹き出し空調とのことだが、すぐに執務室を温められるのか。
⇨断熱性能が高い建物になるので、夜間の放熱が抑えられるので初動の負荷が大きくなるようにはならない。
- 敷地への出入口が県道側にあるが、右折進入する際に混雑しそうなので、北東側にも出入口を作ったほうがいいのか。または、十字路にしたほうが、安全でスムーズに出入りできるのではないか。
⇨交差点から30m以内は、乗入を設けてはならないため、北東側に出入口を設置することはできない。十字路にすると、交差点から30m程は公道にしなければならず、公道にしてしまうとその分建設用地が減ってしまい、より使い勝手の悪い敷地になってしまう。現在の計画では、交差点から一番遠い場所を出入口とし一番安全な出入口になっていると考えている。警察とも協議済み。
- RC造と木造の混合構造だが、つなぎ目で結露が発生し木が腐ったりしないのか。
⇨RC造と木造の取合部は結露が発生しやすいため、断熱材を適材適所に入れることで結露を防いでいく。
- 浸水エリアに新庁舎建設することになっているが、もし浸水した場合防災拠点として機能するのか。
⇨浸水することは想定しており、1階をRC造としている。また重要な機器類はすべて2階若しくは嵩上げして配置しており、浸水しても防災拠点としての機能が停止することはないと考えている。